

全教「教職員勤務実態調査2022」（都教組版）

2023年5月17日

全教が10月24日～30日に勤務実態調査を行い、2554通を集計・分析しました。都教組からは、449通を送ることができました。ご協力くださった組合員、教職員の皆さんに、改めて感謝申し上げます。
 都の小中学校の集計結果を見ると、土日、持ち帰り業務も含めた時間外勤務の平均が教諭等と栄養職員・栄養教諭で115時間を超え、中学校だけで見ると134時間超となり、都の義務制教職員は過労死ラインをはるかに超える異常な超過勤務におかれていることがわかりました。
 今年度、4月7日時点での都の教職員の欠員が約80名とする報道がありました。教職員不足も加わり、都の学校現場は、いつ誰が倒れてもおかしくない状況であり、子どもの教育条件にも大きくかかわる重大な問題です。これらの調査結果と分析をもとに、正規教職員増、教職員定数の抜本的見直し、少人数学級の加速、拡大、持ち時数縮減、業務の削減等が急務であると、教育委員会に要求し、職場、地域にもひろげ、子どもと教育、教職員を守る世論を高めていくことが求められています。

1-1. 勤務時間・時間外勤務について

勤務時間の特徴

時間外勤務（校内及び持ち帰りの合計）の平均

	教諭・助教諭・講師等	養護教諭	学校栄養職員・栄養教諭	実習教員	寄宿舎指導員	事務職員	学校司書	現業職員
平日	3時間38分	2時間43分	3時間48分	-	-	0時間54分	-	-
土曜	5時間01分	5時間31分	4時間20分	-	-	-	-	-
日曜	3時間46分	1時間54分	3時間30分	-	-	-	-	-
4週	108時間01分	84時間16分	107時間26分	-	-	18時間08分	-	-
1か月	115時間44分	90時間17分	115時間06分	-	-	19時間25分	-	-

教諭等と栄養職員・栄養教諭の長時間労働が1月115時間を超えて深刻。養護教諭も過労死ラインを10時間も上回る。平日は1日3時間超えがあたりまえ、特に土曜日は養護教諭も5時間を超えている。

時間外勤務の分布

	45時間未満	45～80時間未満	80～100時間未満	100時間以上
教諭・助教諭・講師等	10.6%	26.9%	17.8%	44.7%
養護教諭	23.5%	35.3%	23.5%	17.6%
学校栄養職員・栄養教諭	16.7%	16.7%	16.7%	50.0%
実習教員	-	-	-	-
寄宿舎指導員	-	-	-	-
事務職員	100.0%	-	-	-
学校司書	-	-	-	-
現業職員	-	-	-	-

教諭等、養護教諭、栄養職員・栄養教諭とも、過労死ラインである80時間超は40%を超えている。中でも栄養職員・栄養教諭は80時間以上が66.7%と最大になり、100時間以上が半数となっている。献立づくりやカロリー計算、さらに増えているアレルギー対応、会計、食育等、時間と神経を使う重い任務を一人で担っていることが背景にある。さらに、栄養教諭は地域の食育リーダーも担わされている場合が多く、過重負担に。
 事務職員は、100%45時間以内という結果だが、多くがサービス残業を強いられている実態がある。また、学校の不規則な勤務状態のもとで、休憩時間を削って仕事をしていることもある。

時間外勤務の時間の比較

教諭・校種別

校内時間外	小学校	中学校
平日	3時間04分	3時間22分
土曜	2時間31分	5時間45分
日曜	0時間54分	3時間24分
4週	75時間20分	104時間05分
1か月	80時間43分	111時間31分

小中とも在校等時間だけで、80時間を超えている。中学校の校内勤務が多くなっているのは、部活顧問の影響が大きいと考えられる。

持ち帰り	小学校	中学校
平日	0時間27分	0時間24分
土曜	1時間10分	1時間10分
日曜	1時間56分	2時間15分
4週	21時間33分	21時間52分
1か月	23時間05分	23時間25分

持ち帰り業務も含めた時間外勤務の長さは、校種別の差がほとんどない。

時間外合計	小学校	中学校
平日	3時間30分	3時間45分
土曜	3時間42分	6時間56分
日曜	2時間50分	5時間40分
4週	96時間28分	125時間35分
1か月	103時間22分	134時間33分

持ち帰り業務も含めた時間外勤務は、小中ともに100時間を超え、中学は極めて厳しい。土日が多いことから、部活動顧問が大きく影響していることが予想される。

1-2. 時間集計【平均】

校内での時間外勤務（平日：在校等時間－7時間45分、土日：在校等時間）

全体

校内時間外	時間（分）
平日	192.7
土曜	228.0
日曜	102.1

校内時間外	時間（分）
平日	3時間12分
土曜	3時間48分
日曜	1時間42分

校種別

校内時間外	小学校	中学校
平日	185.8	205.2
土曜	147.6	342.6
日曜	53.8	208.1

時間に変換

校内時間外	小学校	中学校
平日	3時間05分	3時間25分
土曜	2時間27分	5時間42分
日曜	0時間53分	3時間28分

年代別

校内時間外	30歳以下	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上
平日	221.2	182.0	171.0	204.5	174.9
土曜	277.4	226.9	169.6	235.1	252.7
日曜	158.5	74.6	118.9	92.2	36.4

時間に変換

校内時間外	30歳以下	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上
平日	3時間41分	3時間02分	2時間51分	3時間24分	2時間54分
土曜	4時間37分	3時間46分	2時間49分	3時間55分	4時間12分
日曜	2時間38分	1時間14分	1時間58分	1時間32分	0時間36分

担任の有無

校内時間外	通常学級の担任	複式学級の担任	特別支援学級の担任	していない
平日	205.3	85.0	168.8	178.2
土曜	225.6	0.0	180.5	258.5
日曜	96.4	0.0	103.1	115.7
4週	5394.6	1700.0	4510.9	5060.1
1か月	5780.0	1821.4	4833.1	5421.5

時間に交換

校内時間外	通常学級の担任	複式学級の担任	特別支援学級の担任	していない
平日	3時間25分	1時間25分	2時間48分	2時間58分
土曜	3時間45分	-	3時間00分	4時間18分
日曜	1時間36分	-	1時間43分	1時間55分
4W	89時間54分	28時間20分	75時間10分	84時間20分
1M	96時間19分	30時間21分	80時間33分	90時間21分

子どもの人数

校内時間外	20人以内	21～30人	31人以上
平日	156.8	205.0	208.2
土曜	45.0	207.3	240.8
日曜	0.0	53.2	120.9
4W	3315.9	5141.3	5611.1
1M	3552.7	5508.6	6011.9

校内時間外	20人以内	21～30人	31人以上
平日	2時間36分	3時間24分	3時間28分
土曜	0時間45分	3時間27分	4時間00分
日曜	-	0時間53分	2時間00分
4W	55時間15分	85時間41分	93時間31分
1M	59時間12分	91時間48分	100時間11分

校内の時間外勤務の多少は、担任の有無とはあまり関連がない。しかし、明らかに学級の子どもの人数は影響していて、子どもの人数が多いほうが長くなっている。

部活顧問の有無

校内時間外	対外試合やコンクールのある運動部・文化部・組織の役員	対外試合やコンクールのない運動部・文化部	顧問はしていない
平日	217.0	191.3	183.8
土曜	371.0	260.0	148.1
日曜	237.3	133.6	50.5
4週間	6774.4	5400.5	4471.1
1か月	7258.3	5786.2	4790.5

時間に交換

校内時間外	対外試合やコンクールのある運動部・文化部・組織の役員	対外試合やコンクールのない運動部・文化部	顧問はしていない
平日	3時間37分	3時間11分	3時間03分
土曜	6時間11分	4時間19分	2時間28分
日曜	3時間57分	2時間13分	0時間50分
4か月	112時間54分	90時間00分	74時間31分
1か月	120時間58分	96時間26分	79時間50分

部活動の顧問では、対外試合等がある部活動の顧問は1月に120時間超となり、ついで、それが無い部活動、顧問がないと80時間以内となっている。校内で対外試合等に向けた練習や校内での練習試合等があるためと考えられる。

持ち帰り業務の時間

全体

持ち帰り業務	時間 (分)
平日	27.0
土曜	73.5
日曜	124.4

持ち帰り業務	時間 (分)
平日	0時間27分
土曜	1時間13分
日曜	2時間04分

校種別

持ち帰り業務	小学校	中学校
平日	27.9	25.4
土曜	72.4	75.0
日曜	120.9	132.1

持ち帰り業務	小学校	中学校
平日	0時間27分	0時間25分
土曜	1時間12分	1時間15分
日曜	2時間00分	2時間12分

若年層は学校に残って仕事を行い、中高年齢層は持ち帰り業務が多くなっている。家庭の状況によるものと思われる。

年代別

持ち帰り業務	30歳以下	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上
平日	22.1	23.4	33.4	30.2	19.7
土曜	36.0	53.8	98.1	93.0	83.3
日曜	93.6	89.7	129.8	154.2	154.3

持ち帰り業務	30歳以下	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上
平日	0時間22分	0時間23分	0時間33分	0時間30分	0時間19分
土曜	0時間36分	0時間53分	1時間38分	1時間33分	1時間23分
日曜	1時間33分	1時間29分	2時間09分	2時間34分	2時間34分

担任の有無

持ち帰り業務	通常学級の担任	複式学級の担任	特別支援学級の担任	していない
平日	25.4	12.0	34.1	27.2
土曜	74.5	0.0	66.6	74.0
日曜	121.0	0.0	133.8	127.8
4W	1290.8	240.0	1483.7	1351.4
1M	1383.0	257.1	1589.6	1447.9

持ち帰り業務	通常学級の担任	複式学級の担任	特別支援学級の担任	していない
平日	0時間25分	0時間12分	0時間34分	0時間27分
土曜	1時間14分	-	1時間06分	1時間14分
日曜	2時間00分	-	2時間13分	2時間07分
4W	21時間30分	4時間00分	24時間43分	22時間31分
1M	23時間03分	4時間17分	26時間29分	24時間07分

担任かどうかは持ち帰り時間に差異はない。

子どもの人数

持ち帰り業務	20人以内	21～30人	31人以上
平日	23.3	24.9	26.8
土曜	75.0	52.3	86.1
日曜	110.0	120.0	122.7
4W	1206.7	1186.7	1370.7
1M	1292.9	1271.5	1468.6

持ち帰り業務	20人以内	21～30人	31人以上
平日	0時間23分	0時間24分	0時間26分
土曜	1時間15分	0時間52分	1時間26分
日曜	1時間50分	2時間00分	2時間02分
4W	20時間06分	19時間46分	22時間50分
1M	21時間32分	21時間11分	24時間28分

クラスの数が多い方が、持ち帰り業務が多くなっている。

部活顧問の有無

持ち帰り業務	対外試合やコンクールのある運動部・文化部・組織の役員	対外試合やコンクールのない運動部・文化部	顧問はしていない
平日	29.9	21.8	26.6
土曜	73.8	84.6	70.3
日曜	112.5	155.5	119.1
4W	1344.0	1396.3	1289.9
1M	1440.0	1496.057514	1382.0

持ち帰り業務	対外試合やコンクールのある運動部・文化部・組織の役員	対外試合やコンクールのない運動部・文化部	顧問はしていない
平日	0時間29分	0時間21分	0時間26分
土曜	1時間13分	1時間24分	1時間10分
日曜	1時間52分	2時間35分	1時間59分
4W	22時間23分	23時間16分	21時間29分
1M	23時間59分	24時間56分	23時間02分

顧問をしているかしていないかは、持ち帰り業務の時間にほとんど影響していない。

授業時間

持ち帰り業務	1000分以内	1001～1200分	1201分以上
平日	26.0	25.4	39.7
土曜	70.5	74.6	101.5
日曜	115.1	119.1	202.0

持ち帰り業務	1 6 時間	1 6 ～ 2 0 時間	2 0 時間以上
	1000分以内	1001～1200分	1201分以上
平日	0時間25分	0時間25分	0時間39分
土曜	1時間10分	1時間14分	1時間41分
日曜	1時間55分	1時間59分	3時間22分

授業時間が長くなるほど、持ち帰り業務が多くなっている。校内で業務をすすめる時間が少ないためだと考えられる。

1日の時間外勤務（平日：在校等時間+持ち帰り業務の時間-7時間45分、土日：在校等時間+持ち帰り業務の時間）

全体

時間外合計	時間（分）
平日	218.5
土曜	301.5
日曜	226.5
4w	3204.3
1M	3433.2

時間外合計	時間（分）
平日	3時間38分
土曜	5時間01分
日曜	3時間46分
4w	53時間24分
1M	57時間13分

小中とも100時間を超えている。小学校でも120時間を超え、部活動がある中学校は130時間を超えている。

校種別

時間外合計	小学校	中学校
平日	212.4	229.5
土曜	219.9	417.6
日曜	174.7	273.8
4W	7105.9	7355.7
1M	7613.4	7881.09923

時間外合計	小学校	中学校
平日	3時間32分	3時間49分
土曜	3時間39分	6時間57分
日曜	2時間54分	4時間33分
4W	118時間25分	122時間35分
1M	126時間53分	131時間21分

どの世代も100時間を超えているが、30歳以下と51～60歳で120時間を超え、時間外勤務がより多くなっている。

年代別

時間外合計	30歳以下	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上
平日	242.2	204.5	203.1	232.9	194.6
土曜	313.4	280.7	267.7	328.1	336.1
日曜	252.1	164.3	248.7	246.4	190.7
4W	7105.9	5869.3	6127.4	6955.4	5998.5
1M	7613.4	6288.5	6565.1	7452.3	6427.0

時間外合計	30歳以下	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61歳以上
平日	4時間02分	3時間24分	3時間23分	3時間52分	3時間14分
土曜	5時間13分	4時間40分	4時間27分	5時間28分	5時間36分
日曜	4時間12分	2時間44分	4時間08分	4時間06分	3時間10分
4W	118時間25分	97時間49分	102時間07分	115時間55分	99時間58分
1M	126時間53分	104時間48分	109時間25分	124時間12分	107時間07分

担任の有無

時間外合計	通常学級の担任	複式学級の担任	特別支援学級の担任	していない
平日	229.4	97.0	201.1	204.7
土曜	300.1	0.0	247.0	332.5
日曜	217.3	0.0	236.8	243.5
4W	6658.1	1940.0	5956.7	6397.2
1M	7133.7	2078.6	6382.2	6854.1

時間外合計	通常学級の担任	複式学級の担任	特別支援学級の担任	していない
平日	3時間49分	1時間37分	3時間21分	3時間24分
土曜	5時間00分	-	4時間07分	5時間32分
日曜	3時間37分	-	3時間56分	4時間03分
4W	110時間58分	32時間20分	99時間16分	106時間37分
1M	118時間53分	34時間38分	106時間22分	114時間14分

子どもの人数

時間外合計	20人以内	21～30人	31人以上
平日	180.1	228.4	233.6
土曜	120.0	259.7	326.9
日曜	110.0	173.2	243.6
4W	4522.6	6299.1	6954.3
1M	4845.6	6749.1	7451.0

時間外合計	20人以内	21～30人	31人以上
平日	3時間00分	3時間48分	3時間53分
土曜	2時間00分	4時間19分	5時間26分
日曜	1時間50分	2時間53分	4時間03分
4W	75時間22分	104時間59分	115時間54分
1M	80時間45分	112時間29分	124時間11分

最終合計でも、担任の有無は時間外勤務の長さに関連していないことがわかる。それよりも、クラスの人数が多いほど確実に時間外勤務が長くなっている。20人以内と31人以上では40時間以上の開きがある。少人数学級は教職員の長時間労働に大きく影響していることがわかる。少人数学級の加速、拡大は急務である。

部活顧問の有無

時間外合計	対外試合やコンクールのある運動部・文化部・組織の役員	対外試合やコンクールのない運動部・文化部	顧問はしていない
平日	244.9	213.1	209.3
土曜	444.8	344.6	218.4
日曜	349.8	289.0	169.6
4W	8076.9	6796.8	5738.9
1M	8653.8	7282.3	6148.8

時間外合計	対外試合やコンクールのある運動部・文化部・組織の役員	対外試合やコンクールのない運動部・文化部	顧問はしていない
平日	4時間04分	3時間33分	3時間29分
土曜	7時間24分	5時間44分	3時間38分
日曜	5時間49分	4時間49分	2時間49分
4W	134時間36分	113時間16分	95時間38分
1M	144時間13分	121時間22分	102時間28分

部活動の顧問をし、さらに対外試合等がある顧問は、144時間を超える時間外勤務を行っている。平日は8時過ぎまで、土日はほとんど1日学校にしていることになる。顧問がなくても100時間を超えるが、顧問を持つことによってさらなる長時間労働につながっている。

休憩時間

全体

休憩時間	時間 (分)
平日	4.2

校種別

休憩時間	小学校	中学校
平日	4.2	4.2

4.2分は平均であり、8割が全く休憩をとれていないことは深刻であり、改めて長時間過密労働が依然深刻であることがわかる。

睡眠時間の合計

全体

睡眠時間	時間 (分)
平日	378.4
土曜	420.5
日曜	441.2

睡眠時間	時間 (分)
平日	6時間18分
土曜	7時間00分
日曜	7時間21分

平日の睡眠が平均7時間に満たないことは、疲労を回復しきれないまま1週間を過ごしている実態にもつながる。

1-3. 時間集計【分布】

校内での時間外勤務（平日：在校等時間－7時間45分）

全体

校内での時間外勤務 ()	回答数	割合
60分以内	161	8.4%
61～120分	299	15.5%
121～180分	423	22.0%
181～240分	458	23.8%
240分以上	585	30.4%
合計	1,926	100.0%

平日1日の時間外勤務では、240分以上（4時間以上）が3割超もいる。3時間以上が54%と過半数となっている。

校種別

校内での時間外勤務 ()	60分以内	61～120分	121～180分	181～240分	241分以上
小学校	8.3%	17.9%	22.6%	23.7%	27.4%
中学校	8.4%	11.2%	20.7%	24.0%	35.7%

3時間以上が小中とも5割を超えている。中学校では6割にも上る。

年代別

校内での時間外勤務（平日）	60分以内	61～120分	121～180分	181～240分	241分以上
30歳以下	5.2%	12.1%	18.0%	20.9%	43.8%
31～40歳	9.4%	17.6%	24.4%	21.7%	26.8%
41～50歳	11.6%	17.6%	23.9%	25.4%	21.5%
51～60歳	7.5%	10.6%	21.8%	25.9%	34.2%
61歳以上	6.9%	27.6%	20.7%	25.5%	19.3%

20代の4割超が4時間以上。50代超でも3割を超えている。

担任の有無

校内での時間外勤務（平日）	60分以内	61～120分	121～180分	181～240分	241分以上
通常学級の担任	5.5%	13.4%	19.2%	27.6%	34.3%
複式学級の担任	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特別支援学級の担任	13.3%	19.9%	27.3%	16.4%	23.0%
していない	12.3%	17.5%	24.8%	19.5%	25.9%

担任かどうかは、時間が勤務の長短にあまりかわらない

子どもの人数

校内での時間外勤務（平日）	60分以内	61～120分	121～180分	181～240分	241分以上
20人以内	12.8%	30.8%	12.8%	25.6%	17.9%
21～30人	4.6%	14.8%	18.4%	28.1%	34.0%
31人以上	5.6%	11.8%	20.0%	27.0%	35.6%

担任かどうかより、子どもの人数が多いほど、明らかに時間外勤務が長くなっている

部活顧問の有無

校内での時間外勤務（平日）	60分以内	61～120分	121～180分	181～240分	241分以上
対外試合やコンクールのある運動部・文化部・組織の役員	6.6%	10.0%	19.4%	22.6%	41.2%
対外試合やコンクールのない運動部・文化部	6.9%	13.4%	24.7%	31.6%	23.4%
顧問はしていない	9.2%	17.4%	22.8%	23.2%	27.4%

平日4時間以上、時間外勤務を行っているのは、部活動があるなしに関わらず、20%を超えているが、特に対外試合等のある顧問は41%が4時間以上時間外勤務を行っている。

持ち帰り業務の時間

全体

持ち帰り業務（平日）	回答数	割合
30分以内	1,484	77.1%
31～60分	170	8.8%
61～90分	78	4.0%
91～120分	109	5.7%
121分以上	85	4.4%
合計	1,926	100.0%

持ち帰り業務では77%が30分以内だが、2時間以上も一定数存在する。育児、介護、家事等で学校に残れない職員が該当すると考えられる。

校種別

持ち帰り業務（平日）	30分以内	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上
小学校	75.4%	10.1%	4.5%	5.6%	4.4%
中学校	80.1%	6.5%	3.2%	5.7%	4.4%

年代別

持ち帰り業務（平日）	30分以内	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上
30歳以下	81.7%	7.0%	2.8%	4.6%	3.9%
31～40歳	78.3%	7.5%	4.6%	7.5%	2.2%
41～50歳	74.4%	8.2%	3.7%	5.6%	8.2%
51～60歳	74.7%	11.4%	4.3%	5.3%	4.3%
61歳以上	77.9%	10.3%	6.2%	4.8%	0.7%

担任の有無

持ち帰り業務（平日）	30分以内	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上
通常学級の担任	78.7%	8.8%	3.7%	4.8%	4.0%
複式学級の担任	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特別支援学級の担任	70.3%	9.8%	5.5%	9.0%	5.5%
していない	76.8%	8.6%	3.5%	6.0%	5.1%

担任の有無と持ち帰り業務は関連が薄い。クラスの人数が多いと持ち帰り業務も多くなっている。

子どもの人数

持ち帰り業務（平日）	30分以内	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上
20人以内	74.4%	15.4%	7.7%	2.6%	0.0%
21～30人	77.7%	7.4%	4.9%	5.6%	4.3%
31人以上	78.4%	9.4%	3.6%	4.6%	3.9%

部活顧問の有無

持ち帰り業務（平日）	30分以内	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上
対外試合やコンクールのある運動部・文化部・組織の役員	79.5%	4.3%	3.0%	6.6%	6.6%
対外試合やコンクールのない運動部・文化部	77.9%	12.6%	3.9%	4.3%	1.3%
顧問はしていない	76.3%	9.9%	4.5%	5.0%	4.3%

対外試合等のある顧問は、持ち帰り業務も多い。部活動で学校に残りながらも、終わらなかった業務を持ち帰って行わざるを得ない。

1日の時間外勤務（平日：在校等時間+持ち帰り業務の時間-7時間45分、土日：在校等時間+持ち帰り業務の時間）

全体

時間外合計（平日）	回答数	割合
60分以内	140	7.3%
61～120分	236	12.3%
121～180分	351	18.2%
181分以上	417	21.7%
241分以上	782	40.6%
合計	1,926	100.0%

1日の平均時間外勤務では、4時間超が4割、3時間以上では6割超となり、長時間労働の深刻さがわかる。

校種別

時間外合計（平日）	60分以内	61～120分	121～180分	181分以上	241分以上
小学校	7.2%	13.5%	19.0%	21.5%	38.8%
中学校	7.4%	10.0%	16.8%	21.9%	44.0%

小中とも4時間以上が4割、3時間以上は6割に達する。

年代別

時間外合計（平日）	60分以内	61～120分	121～180分	181分以上	241分以上
30歳以下	4.4%	10.6%	16.5%	18.0%	50.5%
31～40歳	9.4%	12.1%	20.0%	23.2%	35.3%
41～50歳	10.3%	14.8%	19.1%	20.4%	35.3%
51～60歳	5.3%	7.9%	17.3%	23.8%	45.8%
61歳以上	6.2%	22.8%	18.6%	24.1%	28.3%

20代の半数が4時間以上、時間外勤務を行っている。

担任の有無

時間外合計（平日）	60分以内	61～120分	121～180分	181分以上	241分以上
通常学級の担任	4.9%	10.8%	16.4%	23.5%	44.4%
複式学級の担任	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%
特別支援学級の担任	12.5%	14.8%	19.1%	19.5%	34.0%
していない	10.1%	13.6%	21.1%	18.9%	36.3%

担任の有無は時間外勤務の長さにはさほど関連はない

子どもの人数

時間外合計（平日）	60分以内	61～120分	121～180分	181分以上	241分以上
20人以内	7.7%	28.2%	12.8%	28.2%	23.1%
21～30人	4.1%	12.3%	15.3%	23.5%	44.8%
31人以上	5.0%	9.0%	17.1%	23.2%	45.7%

担任の有無より子どもの人数が多いほど時間外勤務が長い

部活顧問の有無

時間外合計（平日）	60分以内	61～120分	121～180分	181分以上	241分以上
対外試合やコンクールのある運動部・文化部・組織の役員	5.3%	9.0%	15.0%	20.7%	50.0%
対外試合やコンクールのない運動部・文化部	5.6%	11.3%	21.2%	28.6%	33.3%
顧問はしていない	8.2%	13.6%	19.0%	20.8%	38.4%

対外試合等のある顧問は平日も4時間以上、時間外勤務を行う過酷な状況であることがわかる。

休憩時間

全体

休憩時間（平日）	回答数	割合
0分	1,542	80.1%
1～15分	189	9.8%
16分～30分	135	7.0%
31分～45分	56	2.9%
46分以上	4	0.2%
合計	1,926	100.0%

8割が全く休憩を取れていない異常事態。取るべき45分の休憩はほぼ全員取れていない過密な実態。

校種別

休憩時間（平日）	0分	1～15分	16分～30分	31分～45分	46分以上
小学校	80.9%	9.1%	6.6%	3.2%	0.2%
中学校	78.5%	11.2%	7.8%	2.4%	0.1%

小中とも約8割が全く休憩をとれていない。

2-1. 通勤時間と育児・介護

あなたの通常の片道通勤時間はどれくらいですか

片道通勤時間	回答数	割合
30分以内	193	43.0%
31～60分	187	41.6%
61分～90分	62	13.8%
91分以上	6	1.3%
無回答	1	0.2%
合計	449	100.0%

通勤時間が60分を超える割合が15%。長時間労働に往復2時間以上の通勤時間は、大きな負担となっていることが予想される。

あなたは帰宅後、家族の育児、看護や介護などを行っていますか（複数回答可）

育児、看護・介護	回答数	割合
育児	141	31.4%
看護・介護	45	10.0%
特にない	266	59.2%
無回答	3	0.7%
合計	449	101.3%

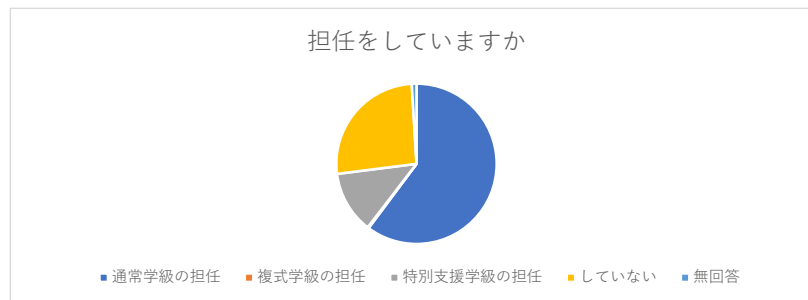
育児・看護・介護を担っている割合が4割を越している。それをかかえながらも、業務がすすめられる権利、権利を取得できる人員配置が求められる。

2-2. 授業について

あなたは、学級担任をしていますか（1つ選択）

※）小学校・中学校・高等学校の教諭、助教諭、講師、実習教員の方にお尋ねします。

学級担任	回答数	割合
通常学級の担任	254	60.2%
複式学級の担任	1	0.2%
特別支援学級の担任	53	12.6%
していない	110	26.1%
無回答	4	0.9%
合計	422	100.0%

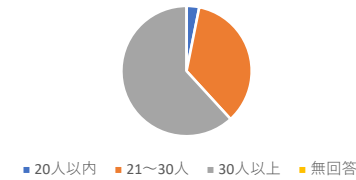


「通常学級の担任」と回答した方にお聞きします。担任しているクラスの人数は、何人ですか

※) 小学校・中学校・高等学校の教諭、助教諭、講師、実習教員の方にお尋ねします。

クラスの人数	回答数	割合
20人以内	8	3.1%
21～30人	89	35.0%
30人以上	157	61.8%
無回答	-	-
合計	254	100.0%

クラスの人数



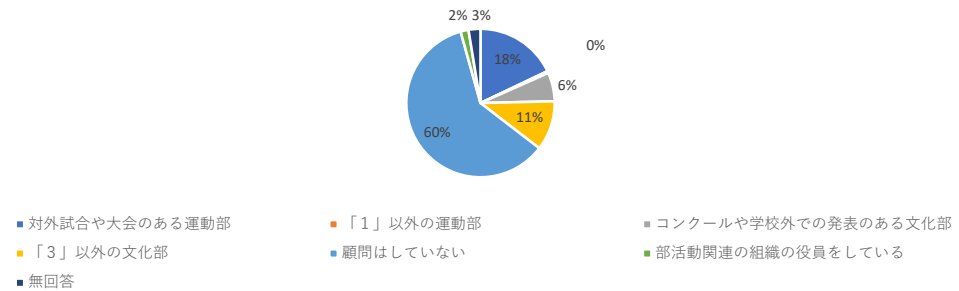
6割が30人を超えている。クラスの人数の多さが長時間労働を招いている。

2-3. 部活動について

あなたは部活動の顧問をしていますか（複数回答可）

部活動の顧問	回答数	割合
対外試合や大会のある運動部	83	17.9%
「1」以外の運動部	2	0.4%
コンクールや学校外での発表のある文化部	29	6.3%
「3」以外の文化部	50	10.8%
顧問はしていない	279	60.3%
部活動関連の組織の役員をしている	8	1.7%
無回答	12	2.6%
合計	463	100.0%

部活動の顧問をしているか

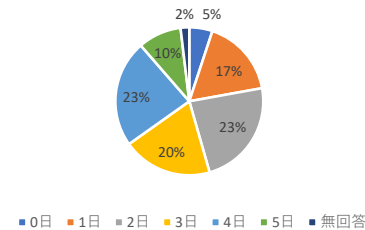


あなたはこの調査の1週間のうち何日、部活動の指導にあたりましたか

※顧問をしている方にお尋ねします。

平日等、授業がある日	回答数	割合
0日	8	5.1%
1日	27	17.1%
2日	37	23.4%
3日	31	19.6%
4日	37	23.4%
5日	15	9.5%
無回答	3	1.9%
合計	158	100.0%

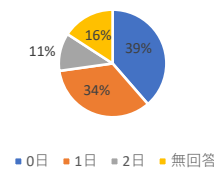
1週間で何日部活の指導に当たっているか



1割が平日に毎日部活動を行っている。1割以上が、土日両日も部活動に費やされている。

土日等、授業が無い日	回答数	割合
0日	61	38.6%
1日	54	34.2%
2日	18	11.4%
無回答	25	15.8%
合計	158	100.0%

土日、授業がない日



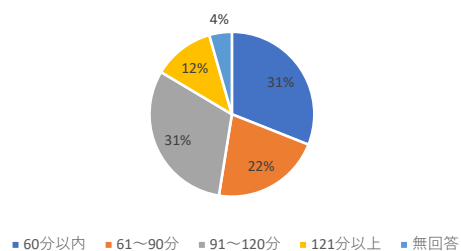
その際、1日平均の指導時間はどれくらいでしたか（分で回答）

※顧問をしている方にお尋ねします。

平日常、授業がある日	回答数	割合
60分以内	49	31.0%
61～90分	34	21.5%
91～120分	49	31.0%
121分以上	19	12.0%
無回答	7	4.4%
合計	158	100.0%

土日等、授業が無い日	回答数	割合
60分以内	47	29.7%
61～120分	9	5.7%
121～180分	39	24.7%
181分以上	26	16.5%
無回答	37	23.4%
合計	158	100.0%

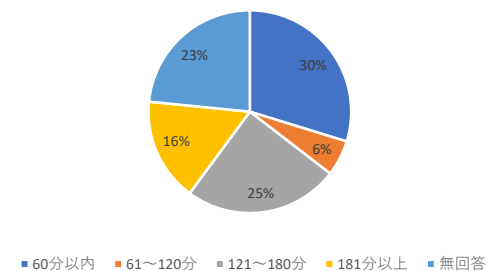
部活動一日の指導時間（平日）



2割近くが3時間以上、部活動を行っている。試合がある日はほぼ1日費やすこともある。

平日1割以上が2時間以上、部活動を行っている。

部活動 土日、授業がない日の指導時間

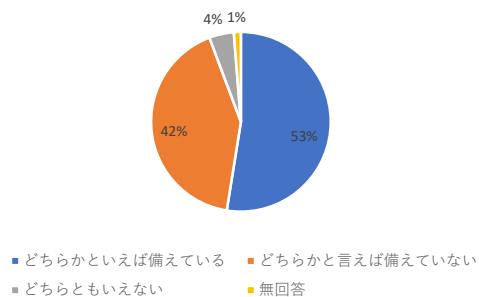


あなたは、担当している部活動を指導可能な知識や技術を備えていると思いますか（1つ選択）

※顧問をしている方（[17]で1～4の回答）にお尋ねします。

指導可能な知識や技術	回答数	割合
どちらかといえば備えている	83	52.5%
どちらかと言えば備えていない	66	41.8%
どちらともいえない	7	4.4%
無回答	2	1.3%
合計	158	100.0%

部活の知識や技術を備えているか



半数近くがが専門的な知識を持たずに顧問を行っていることがわかる。やむを得ず顧問を引き受けている割合が多いと思われる。部活動の顧問は強制しないよう、とりくんでいくことが必要。

2-4. 環境整備の実態

あなたの学校では勤務時間の把握はどのように行っていますか（1つ選択）

勤務時間の把握	回答数	割合
タイムカード・ICカード	348	77.5%
PCの立ち上げ・終了	4	0.9%
PCへの打ち込み	51	11.4%
特別のことはしていない	7	1.6%
その他	33	7.3%
無回答	6	1.3%
合計	449	100.0%

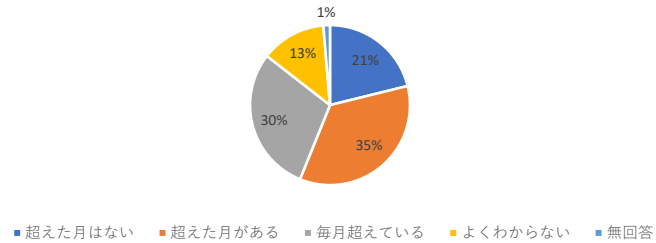
勤務時間把握方法



あなたは、今年の4月以降、時間外勤務の「上限指針」（月45時間）を超えた月がありますか（1つ選択）

時間外勤務の超過	回答数	割合
超えた月はない	95	21.2%
超えた月がある	157	35.0%
毎月超えている	132	29.4%
よくわからない	59	13.1%
無回答	6	1.3%
合計	449	100.0%

4月以降上限指針45時間を超えた月があるか



3割が毎月、指針の上限45時間を超えて働いている。

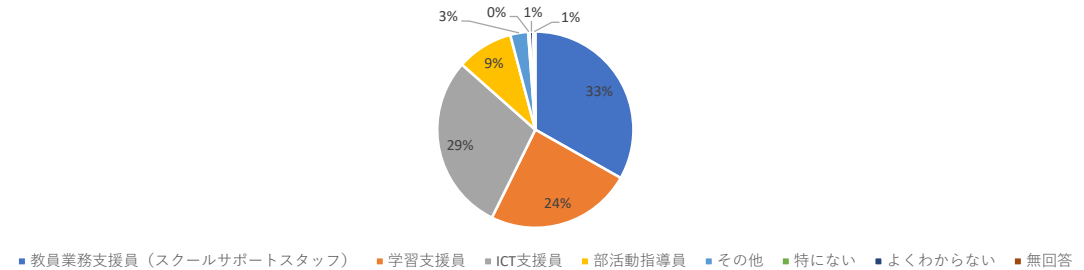
あなたの学校には、「学校における働き方改革」の一環として教職員の業務を支援するスタッフの配置がありますか

（あてはまるものをすべて選択）

業務を支援するスタッフの配置	回答数	割合
教員業務支援員（スクールサポートスタッフ）	395	33.2%
学習支援員	287	24.1%
ICT支援員	348	29.2%
部活動指導員	111	9.3%
その他	35	2.9%
特にない	3	0.3%
よくわからない	7	0.6%
無回答	4	0.3%
合計	1,190	100.0%

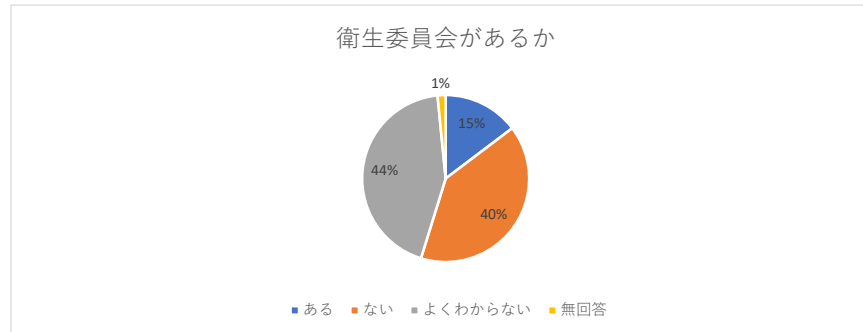
回答数がおかしい！

業務支援スタッフ配置



あなたの学校には「衛生委員会」または「安全衛生懇話会」等がありますか（1つ選択）

衛生委員会・安全衛生懇話会	回答数	割合
ある	66	14.7%
ない	180	40.1%
よくわからない	196	43.7%
無回答	7	1.6%
合計	449	100.0%

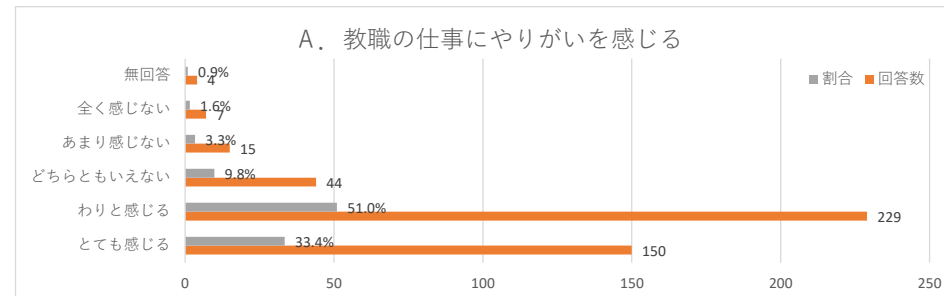


衛生委員会がない職場は4割、よくわからない（衛生委員会があったとしても活動していないと思われる）職場が8割を超えている。労働環境の改善がなされる場が機能していないと考えられる。

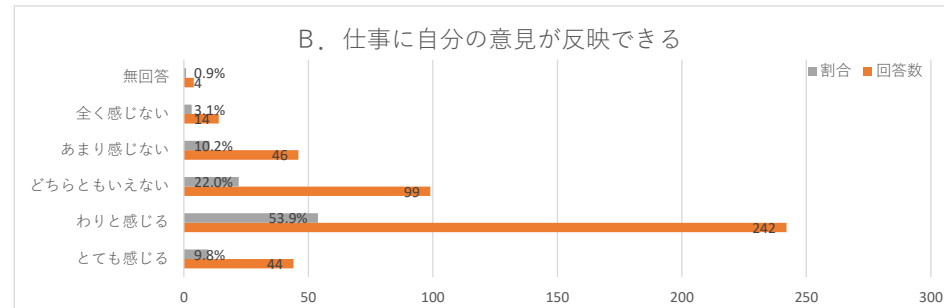
2-5. ストレスなどの意識調査

あなたは次のことをどれくらい感じますか（各項目1つ選択）

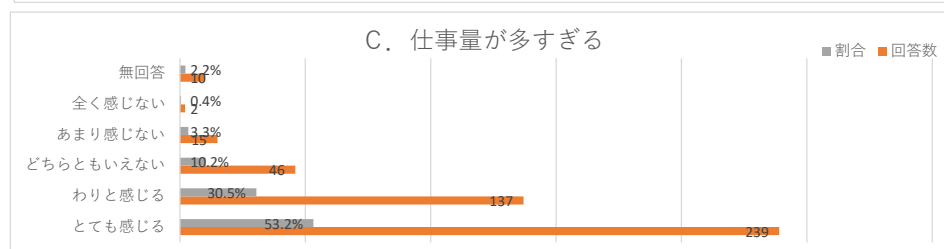
A. 教職の仕事にやりがいを感じる	回答数	割合
とても感じる	150	33.4%
わりと感じる	229	51.0%
どちらともいえない	44	9.8%
あまり感じない	15	3.3%
全く感じない	7	1.6%
無回答	4	0.9%
合計	449	100.0%



B. 仕事に自分の意見が反映できる	回答数	割合
とても感じる	44	9.8%
わりと感じる	242	53.9%
どちらともいえない	99	22.0%
あまり感じない	46	10.2%
全く感じない	14	3.1%
無回答	4	0.9%
合計	449	100.0%



C. 仕事量が多すぎる	回答数	割合
とても感じる	239	53.2%
わりと感じる	137	30.5%
どちらともいえない	46	10.2%
あまり感じない	15	3.3%
全く感じない	2	0.4%
無回答	10	2.2%
合計	449	100.0%

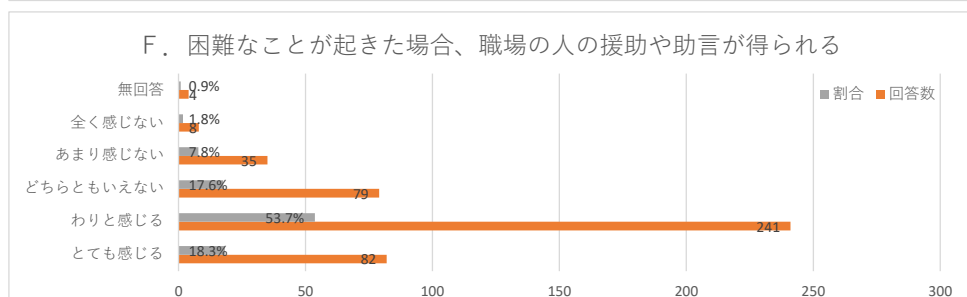
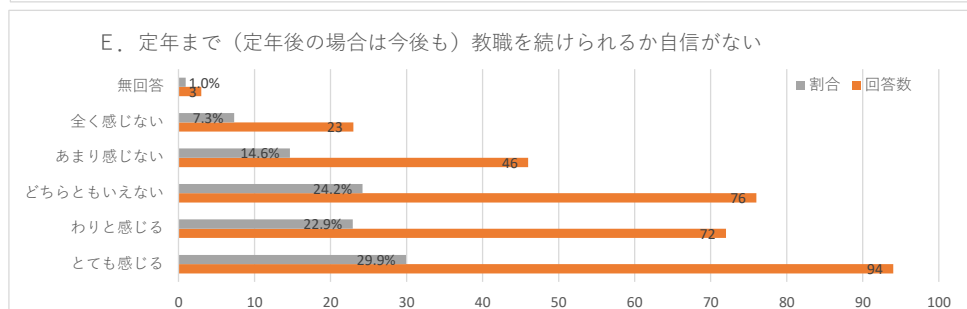
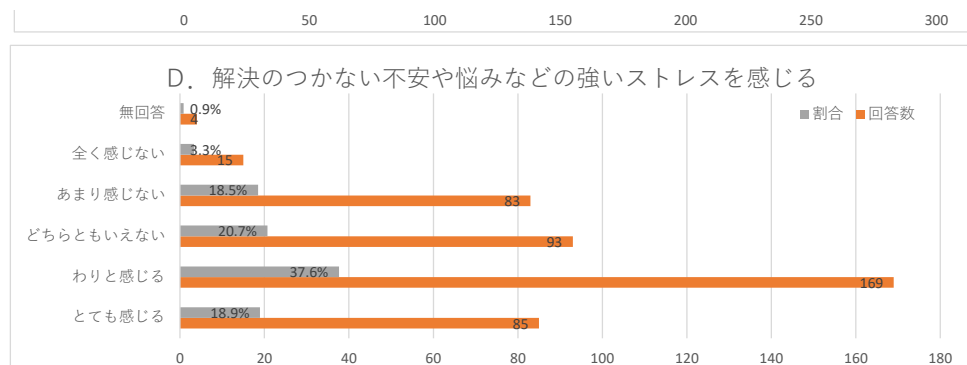


Aの仕事のやりがいをとても感じると割と感じるの計が84%と高い割合を示している。しかし、Cの仕事の量はとても多い、と多いと感じる、を合わせると約84%と高い。ストレスも、56%が、とても感じる、割と感じる、としている。Eの定年まで働く自信がない、が、約53%と高い値を示している。Fの、困難な時7割超が同僚からの助けで仕事をこなしていることがわかる。

D. 解決のつかない不安や悩みなどの強いストレスを感じる	回答数	割合
とても感じる	85	18.9%
わりと感じる	169	37.6%
どちらともいえない	93	20.7%
あまり感じない	83	18.5%
全く感じない	15	3.3%
無回答	4	0.9%
合計	449	100.0%

E. 定年まで（定年後の場合は今後も）教職を続けられるか自信がない	回答数	割合
とても感じる	94	29.9%
わりと感じる	72	22.9%
どちらともいえない	76	24.2%
あまり感じない	46	14.6%
全く感じない	23	7.3%
無回答	3	1.0%
合計	314	100.0%

F. 困難なことが起きた場合、職場の人の援助や助言が得られる	回答数	割合
とても感じる	82	18.3%
わりと感じる	241	53.7%
どちらともいえない	79	17.6%
あまり感じない	35	7.8%
全く感じない	8	1.8%
無回答	4	0.9%
合計	449	100.0%

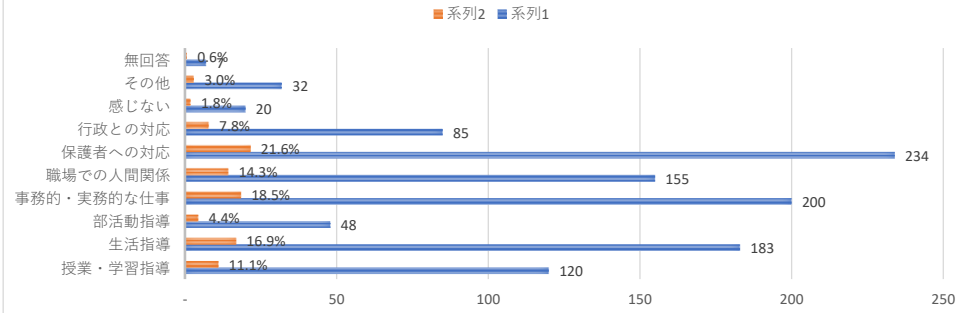


あなたが解決のつかない不安や悩みなどの強いストレスを感じるのは、次のどの項目ですか

(あてはまるものすべてを選択)

ストレスを感じる項目	回答数	割合
授業・学習指導	120	11.1%
生活指導	183	16.9%
部活動指導	48	4.4%
事務的・実務的な仕事	200	18.5%
職場での人間関係	155	14.3%
保護者への対応	234	21.6%
行政との対応	85	7.8%
感じない	20	1.8%
その他	32	3.0%
無回答	7	0.6%
合計	1,084	100.0%

ストレスを感じる項（すべて選択）

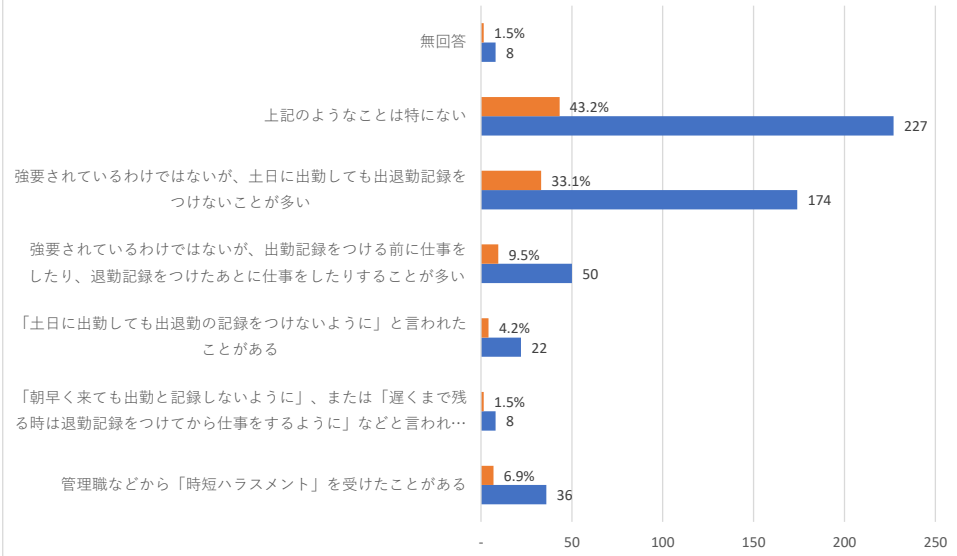


ストレスを感じる原因として保護者への対応が50%を越している。事務的な仕事、生活指導、職場での人間関係が高い。教職員は高ストレスの環境に置かれていることがわかる。

勤務時間の把握に関して次のようなことがありますか (あてはまるものすべてを選択)

勤務時間の把握に関して次のようなことがあるか	回答数	割合
管理職などから「時短ハラスメント」を受けたことがある	36	6.9%
「朝早く来ても出勤と記録しないように」、または「遅くまで残る時は退勤記録をつけてから仕事をするように」などと言われたことがある	8	1.5%
「土日に出勤しても出退勤の記録をつけないように」と言われたことがある	22	4.2%
強要されているわけではないが、出勤記録をつける前に仕事をしたり、退勤記録をつけたあとに仕事をしたりすることが多い	50	9.5%
強要されているわけではないが、土日に出勤しても出退勤記録をつけないことが多い	174	33.1%
上記のようなことは特にない	227	43.2%
無回答	8	1.5%
合計	525	100.0%

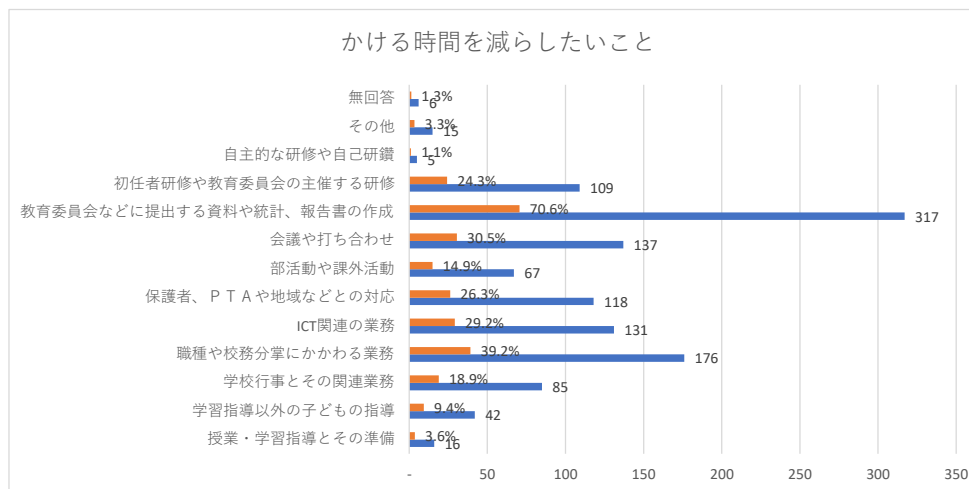
勤務時間の把握に関してあること（すべて選択）



半数が出退勤記録を付けた後に仕事を行っていたり、出退勤をつけないことがあるとしている。ハラスメントを受けていなくても、正確な打刻に圧力を感じていると考えられる。

次の日常業務の中で、あなたがそれにかかる時間を減らしたいと思うことは何ですか（3つまで選択可）

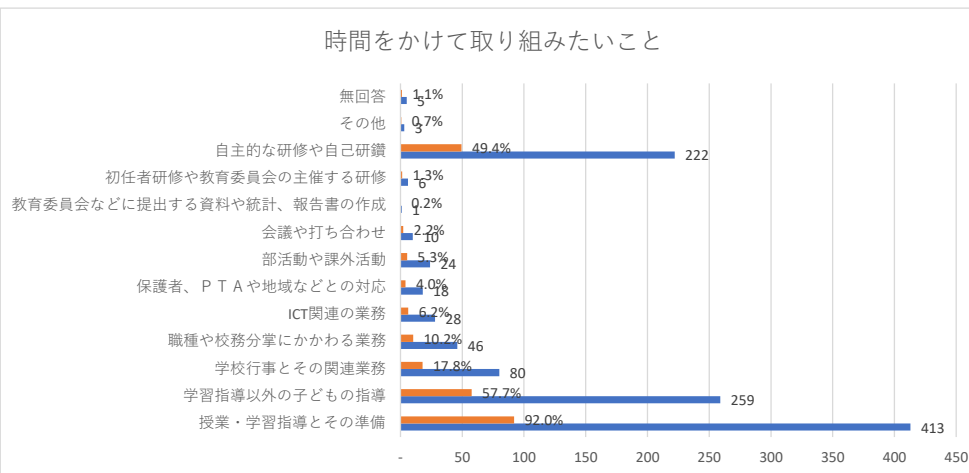
減らしたいと思うこと	回答数	割合
授業・学習指導とその準備	16	3.6%
学習指導以外の子どもの指導	42	9.4%
学校行事とその関連業務	85	18.9%
職種や校務分掌にかかわる業務	176	39.2%
ICT関連の業務	131	29.2%
保護者、PTAや地域などとの対応	118	26.3%
部活動や課外活動	67	14.9%
会議や打ち合わせ	137	30.5%
教育委員会などに提出する資料や統計、報告書の作成	317	70.6%
初任者研修や教育委員会の主催する研修	109	24.3%
自主的な研修や自己研鑽	5	1.1%
その他	15	3.3%
無回答	6	1.3%
合計	449	



教育委員会への報告がとびぬけている。提出資料等が減れば、自分の仕事への時間が増えると思われる。

次の日常業務の中で、あなたがもっと時間をかけてとり組みたいことは何ですか（3つまで選択可）

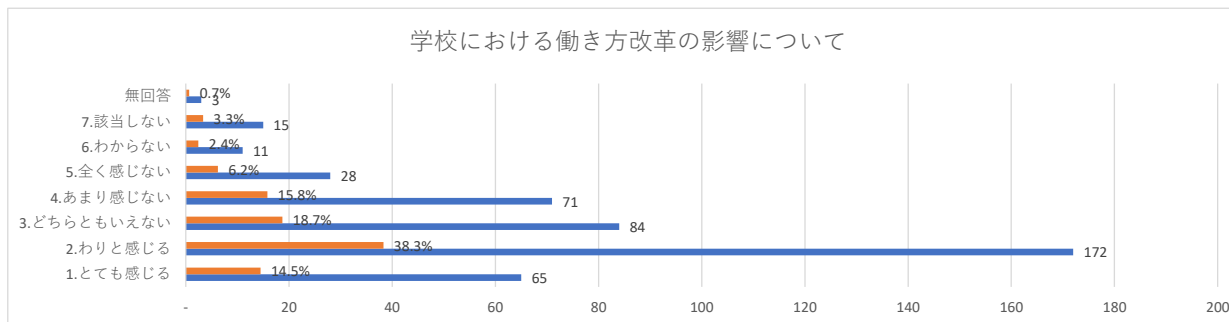
時間をかけてとり組みたいこと	回答数	割合
授業・学習指導とその準備	413	92.0%
学習指導以外の子どもの指導	259	57.7%
学校行事とその関連業務	80	17.8%
職種や校務分掌にかかわる業務	46	10.2%
ICT関連の業務	28	6.2%
保護者、PTAや地域などとの対応	18	4.0%
部活動や課外活動	24	5.3%
会議や打ち合わせ	10	2.2%
教育委員会などに提出する資料や統計、報告書の作成	1	0.2%
初任者研修や教育委員会の主催する研修	6	1.3%
自主的な研修や自己研鑽	222	49.4%
その他	3	0.7%
無回答	5	1.1%
合計	449	



9割以上が授業・学習指導への準備に費やしたいと考えている。また、約5割が子どもの指導や自主的な研修に時間を費やしたいと考えている。

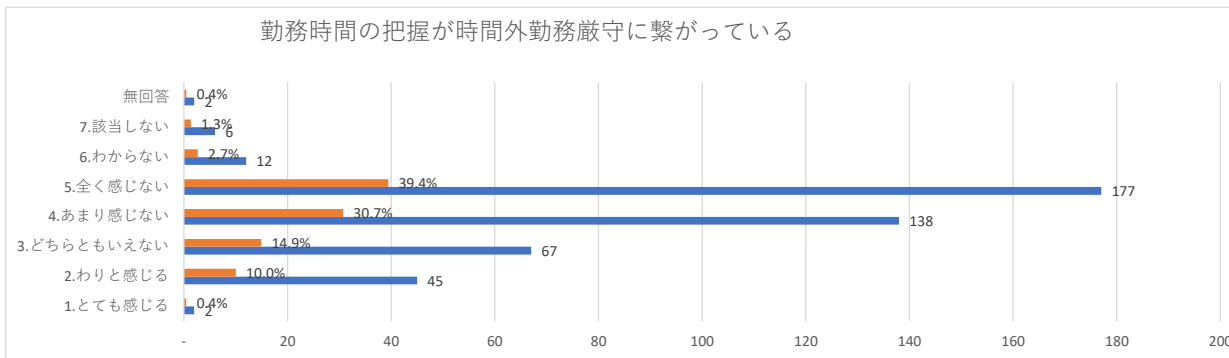
あなたは、この間すすめられてきた「学校における働き方改革」の影響についてどう考えますか（各項目1つ選択）

A. 教員業務支援員（スクールサポートスタッフ）などが配置されたことで、業務が軽減され、助かっている	回答数	割合
1. とても感じる	65	14.5%
2. わりと感じる	172	38.3%
3. どちらともいえない	84	18.7%
4. あまり感じない	71	15.8%
5. 全く感じない	28	6.2%
6. わからない	11	2.4%
7. 該当しない	15	3.3%
無回答	3	0.7%
合計	449	100.0%



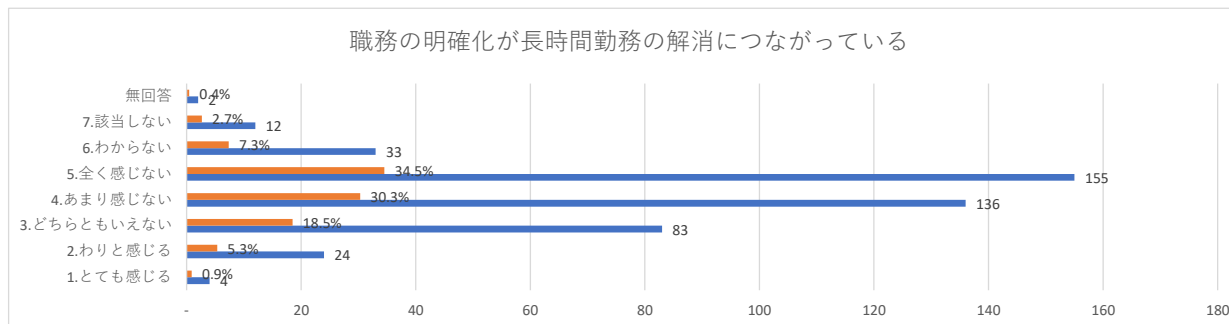
業務支援員により、53%が業務軽減を感じている。

B. 「勤務時間の把握」や「時間外勤務の上限遵守」が、長時間労働の解消につながっている	回答数	割合
1. とても感じる	2	0.4%
2. わりと感じる	45	10.0%
3. どちらともいえない	67	14.9%
4. あまり感じない	138	30.7%
5. 全く感じない	177	39.4%
6. わからない	12	2.7%
7. 該当しない	6	1.3%
無回答	2	0.4%
合計	449	100.0%



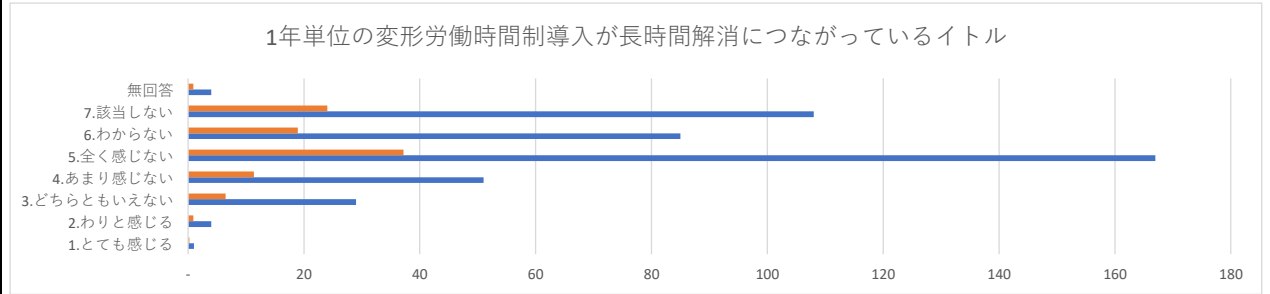
勤務時間の把握は7割が長時間労働の解消につながってないと感じている

C. 教諭・事務職員の「職務の明確化」が、長時間勤務の解消につながっている	回答数	割合
1. とても感じる	4	0.9%
2. わりと感じる	24	5.3%
3. どちらともいえない	83	18.5%
4. あまり感じない	136	30.3%
5. 全く感じない	155	34.5%
6. わからない	33	7.3%
7. 該当しない	12	2.7%
無回答	2	0.4%
合計	449	100.0%



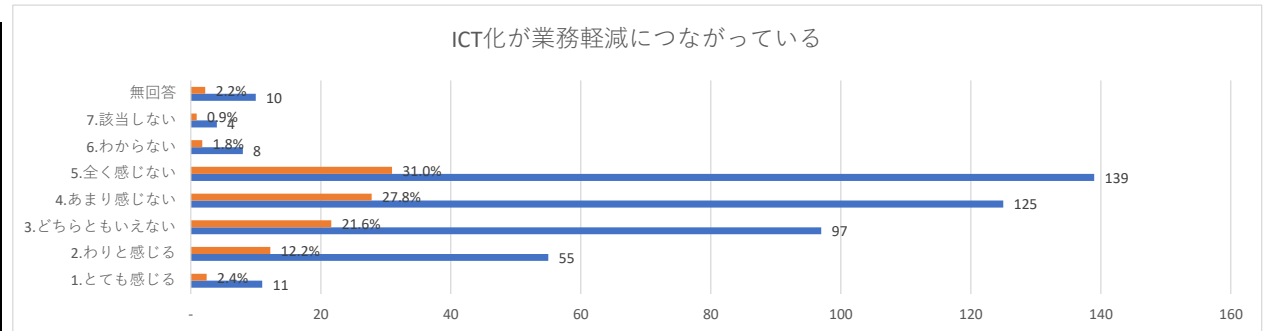
職務の明確化に対して、65%が長時間労働解消につながってないと感じている。

D. 「1年単位の変形労働時間制」の導入が、長時間勤務の解消につながっている	回答数	割合
1. とても感じる	1	0.2%
2. わりと感じる	4	0.9%
3. どちらともいえない	29	6.5%
4. あまり感じない	51	11.4%
5. 全く感じない	167	37.2%
6. わからない	85	18.9%
7. 該当しない	108	24.1%
無回答	4	0.9%
合計	449	100.0%



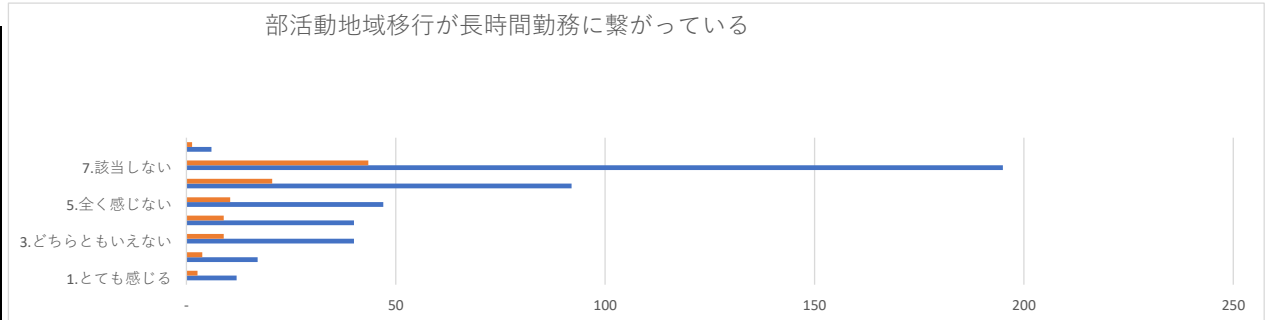
1年単位の変形労働時間制は導入阻止をしているが、長時間労働の解消になるとはほとんどが考えていない。

E. 授業や校務における教育のICT化が、業務の軽減につながっている	回答数	割合
1. とても感じる	11	2.4%
2. わりと感じる	55	12.2%
3. どちらともいえない	97	21.6%
4. あまり感じない	125	27.8%
5. 全く感じない	139	31.0%
6. わからない	8	1.8%
7. 該当しない	4	0.9%
無回答	10	2.2%
合計	449	100.0%



ICT化は6割近くが業務軽減と感じていない。管理等で業務が増えた実態がある。

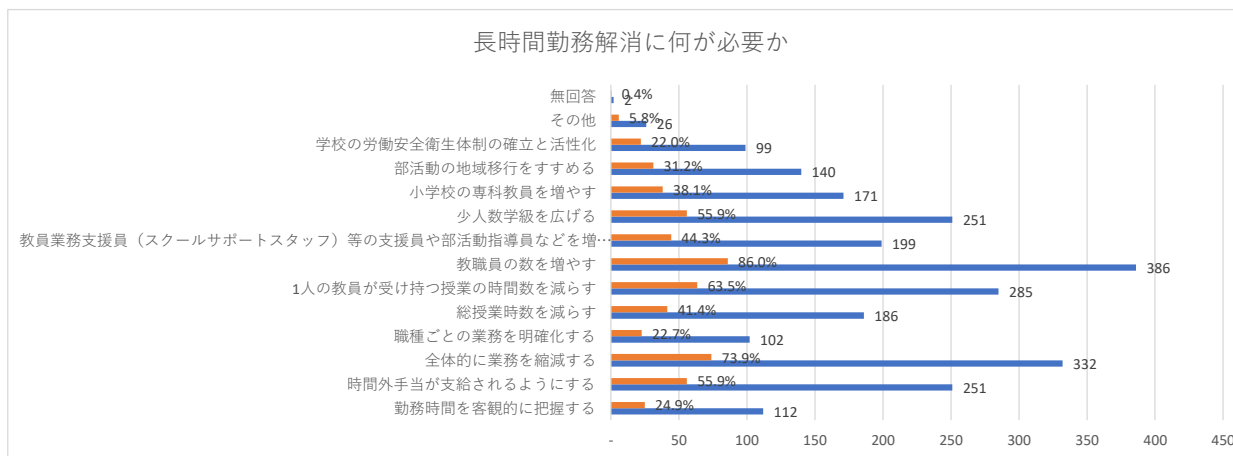
F. 「部活動地域移行」が、長時間勤務の解消につながっている	回答数	割合
1. とても感じる	12	2.7%
2. わりと感じる	17	3.8%
3. どちらともいえない	40	8.9%
4. あまり感じない	40	8.9%
5. 全く感じない	47	10.5%
6. わからない	92	20.5%
7. 該当しない	195	43.4%
無回答	6	1.3%
合計	449	100.0%



地域移行が長時間労働解消につながるかどうかは、未知である割合が多い。

あなたは長時間勤務を解消するために、何が必要だと思いますか（あてはまるものすべてを選択）

長時間勤務解消に必要なこと	回答数	割合
勤務時間を客観的に把握する	112	24.9%
時間外手当が支給されるようにする	251	55.9%
全体的に業務を縮減する	332	73.9%
職種ごとの業務を明確化する	102	22.7%
総授業時数を減らす	186	41.4%
1人の教員が受け持つ授業の時間数を減らす	285	63.5%
教職員の数を増やす	386	86.0%
教員業務支援員（スクールサポートスタッフ）等の支援員や部活動指導員などを増やす	199	44.3%
少人数学級を広げる	251	55.9%
小学校の専科教員を増やす	171	38.1%
部活動の地域移行をすすめる	140	31.2%
学校の労働安全衛生体制の確立と活性化	99	22.0%
その他	26	5.8%
無回答	2	0.4%
合計	449	



教職員の数を増やす、が圧倒的である。授業時間数の軽減、少人数学級、業務の縮減、時間外手当は早急に必要である。